

1 8 費用と効果

アプリの開発及び運用にかかる費用は以下の通りです。

表 1: STP ケーブルの順番

項目	単価 (円)	数量	金額 (円)	備考
Android 端末 (本体)	30,000	3 台	90,000	
Android 端末 (通信料)	100,000	1 台分	100,000	1 台のみインターネット通信を試行するため
システム開発人件費	40,000	420 人日	16,800,000	工程内訳:7 人 × 2ヶ月 (60 日)
サーバー代	250,000	1 台	250,000	
維持費	1,000,000	5 年	5,000,000	
合計			22,240,000	

このアプリを運用することにより待機自動の教育不足や親同士でのつながりの現象を解決することできると想定さる。このアプリは 300 円の有料アプリで全国の 2~5 才児の子どもを持つ保護者を対象としており、その内の 3%となる約 12 万人の方がダウンロードすると仮定し、Google で開発すると 3 割取られるため算出結果は以下のようになります。

$$120,000 \times 300 \times 0.7 = 25,200,000 \quad (1)$$

開発と運用にかかる費用と照らし合わせると 2,960,000 円の黒字となり利益を出すことができます。また、この結果は 1 年間運用した場合の結果であり、出生率を見ると毎年約 90 万人近くの子供が産まれているため 5 年間運用した場合

$$228,000 \times 300 \times 0.7 = 47,880,000 \quad (2)$$

となるためさらなる利益が期待できると考えられます。